



2008年11月27日

**2009年モデル BMW 3 シリーズ セダン、X5、X3 が米国 IIHS の安全性テストで  
最高評価を獲得  
フロント・オフセット衝突、側面衝突、リア衝撃緩和の3種全テストにおいて最高の評価を獲得**

北米 BMW グループは、11月25日、米国 Insurance Institute for Highway Safety (IIHS=道路交通安全保険協会) が行う一連の衝突評価テストの結果、2009年モデルの BMW 3 シリーズ セダン、X5、X3 が安全性の最高評価 を獲得し、3モデル全てに「Top Safety Pick 賞」が授与されたことを発表しました。

今回、BMW の3モデルが獲得した Top Safety Pick 賞は、近年 IIHS より授与された賞の中でも BMW グループにとって大きな快挙のひとつとなりました。事実 2000 年の衝突評価テストでは、BMW X5 が、SUV カテゴリーにおいて最も優れた結果を示しており、同評価テストにおいて過去最高レベルの高い安全性をすでに証明しています。

今回の衝突評価テストの結果について、BMW グループ北米社長、ジム・オドネルは以下のようにコメントしています。「BMW グループは受動的安全性・能動的安全性、両面からの高い安全技術を徹底して採用してきました。今回、2009年モデルの BMW 3 シリーズ セダン、X5、X3 の安全性能が最高レベルであることが IIHS に証明されたことを大変光栄に思います。」

IIHS は、高速走行中のフロント・オフセット衝突、側面衝突実験、さらに乗員の頸部を衝撃から防御するための、リア衝突/頭部衝撃実験の一連の調査を実施し、安全性を「最高レベル」から「不可」まで4段階で評価します。Top Safety Pick 賞を獲得するためには、上記の3種類のクラッシュ・テストにおいて、「最高レベル」を得なければなりません。さらに、2007年からは実験対象モデルには「エレクトリック・スタビリティ・コントロール (ESC=車両安定制御システム)」の採用が義務付けられましたが、このシステムは BMW 製品の「ダイナミック・スタビリティ・コントロール」と同一の機能であり、BMW モデル全てにはすでに標準搭載されています。IIHS は、致命的な単独衝突事故を含めた調査データから、ESC が事故等の緊急事態の際、ドライバーの衝突回避コントロールを支援し、衝突時における乗員のリスクを大幅に減少させている事実検証に基づき、このシステムの一般車両への搭載を強く求めています。